

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシエット
NO. 9

色とりどりに咲く春の花々とともに、新年度を迎える季節となりました。

入園、入学、進級するとたくさんの出会いがあります。楽しみですね。

《溶連菌感染症ってどんな病気？》

お子さんが「のどが痛い」と言う時、その多くは感染による“のど”の炎症が原因です。その多くはウイルス感染によるもので、いわゆる“かぜ”と呼ばれるものです（“かぜ”はウイルス感染なので抗菌薬は無効です）。一方、治療に抗菌薬が必要となる「のどが痛くなる」細菌の中で、こども達にとって重要なものとして溶連菌があげられます。「溶連菌感染症」はこどもに多い疾患で、ほぼ通年でみられますが、春と秋に増加する傾向があり、3～6月頃に最も流行しやすいと言われています。

＜症状＞

溶連菌は、咽頭炎や扁桃炎のほか、中耳炎や副鼻腔炎・肺炎・膿痂疹（とびひ）や、感染誘発性蕁麻疹など、様々な病気の原因菌として知られています。

主に“のど”に感染して、咽頭炎や扁桃炎といった病気を引き起こすことが有名です。その際の代表的な症状としては発熱（38～39℃）・“のど”の痛み・頭痛・腹痛・倦怠感があげられます。ただし、必ずしも発熱を伴う訳ではなく、幼少児や、逆に大きなお子さんや大人では、発熱しないor発熱しても1日ですぐに解熱してしまう場合が多々あります。また、未就学児では“のど”の痛みや腹痛の症状を訴えることが難しく、食欲不振・涎が増える・嘔吐（食べたり飲んだりすると吐く）・下痢（チヨビチヨビ下痢をする 1日5回以内）等の症状で発症することも多く、注意が必要です。感染早期には“のど”の発赤もない場合が多く、診断には培養検査や抗原迅速検査が必要です。感染後、一定期間を経過すると首筋などのリンパ節が腫れたり、舌にプツプツができたり（イチゴ舌）、体や手足に小さくて紅い発疹が出たり（猩紅熱）することもあります。風邪と違って咳や鼻水が出ないことも溶連菌感染症の特徴の1つです。溶連菌には潜伏期間があり、実際に感染（飛沫感染）してからだいたい2～4日で症状が出ます。

＜検査とお薬＞

溶連菌感染症は、のどのグリグリ検査で診断ができます。溶連菌の感染とわかれば、治療には内服の抗菌薬が用いられます。抗菌薬は、病気の原因となっている溶連菌を退治する重要なお薬です。お薬を飲み始めると、1～2日で熱が下がり、のどの痛みもやわらいできます。確実に溶連菌を退治し、重大な続発症（合併症）を引き起こさない為に、症状が消えても抗菌薬はしっかり飲みきる必要があります。一部の抗菌薬以外は1日3回5～10日間飲み続ける必要があります。お薬を飲み始めて2～3日経っても熱が続いたり、他の症状もあるときは、他の病気もいっしょに罹っていることもありますので、再度医療機関を受診をしましょう。

＜溶連菌感染症の再発と家族への感染＞

溶連菌感染症は繰り返しかかることがあります。大人の方もかかります。大人の方では倦怠感、のどの違和感などの症状が出る場合があります。溶連菌感染症の症状としては、咳や鼻水はありませんが、日常生活の中で出る咳やくしゃみなどによって近くの人に感染（飛沫感染）させてしまうことがあります。お子さんが溶連菌感染症と診断されたら、家族、特に一緒に遊んでいる兄弟への感染に注意しましょう。心配な時は検査を受けて、感染している場合は一緒に抗菌薬を内服し、除菌することで繰り返し感染することを防ぐことができます。

保育者が菌を保有することで、子ども達が繰り返し感染することがないように、保育の従業者は、特に飛沫感染対策が重要な疾患です。

＜登園や登校について＞

お薬（抗菌薬）を飲み始めて24時間以上経過して症状がなくなるまでは出席停止になります。

明後日以降、全ての症状がなくなれば登園・登校は可能となります。元気に遊べるようになると、お子さんもご家族も、もう安心と思いがちですが、続発症（合併症）や再発の恐れがありますので、抗菌薬は医師が指示した期間中、しっかり飲むようにしましょう。

＜念のための尿検査＞

リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの、入院を必要とする合併症がないか、発症から3～4週間後に尿検査をして、尿に異常がないことを確認することが大切です。

流行状況（H29.3/1～3/31 検査陽性者のみ）

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	98	79	116	56
アデノウイルス			1	
水痘		7	2	
インフルエンザ A	5	11	8	19
インフルエンザ B	15	8	6	3
メタニューロウイルス	1		2	1

対象：当院受診者

しろやぎさんのポシエットのお部屋紹介

今回は“しろやぎさん”のお部屋の紹介です。

“しろやぎさん”のお部屋には、大きな大きなホワイトボードがあります。ホワイトボードがあるお部屋に来た子供たちは大喜び。じつと見つめて、「描いていい？」と言うと、ペンを持って小さい



子ども大きい子ども夢中になって描いています。

歌を歌いながら描いたり、作った作品を飾ったりしています。「お名前書けるよ！」と覚えてたの文字

を書いてくれたり、小学生になると漢字や算数をしたりしています。こうしてあっという間に“しろやぎさん”の時間が過ぎて行きます。



お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科 病児の保育しろやぎさんのポシエット TEL: 090-2542-5630